

第 1 9 6 回 国 立 大 学 法 人 筑 波 技 術 大 学 役 員 会 議 事 録

I 日 時 令和4年10月27日(木) 16:40~17:10

II 場 所 オンライン(Zoom)会議

III 出席者等

- ・出席者 石原学長(議長)、酒井理事、四日市理事、長島理事
- ・陪席者 内藤副学長、坂尻副学長、大島監事、竹内監事
- ・事務局 井手財務課長、大坂聴覚障害系支援課長 他8名

IV 議 事

1 前回議事録の確認について

前回議事録は、原案のとおり確認された。

2 審議事項

(1) 学位プログラムについて

石原学長から、資料1-1~2により、学位プログラムについて、文部科学省との事前相談及び学内における検討状況の説明があり、今後のスケジュールが確認された。審議の結果、文部科学省や経営協議会学外委員からの指摘も踏まえて、引き続き準備を進めることが了承された。

(2) 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書(令和4年度)の公表について

酒井理事から、資料2-1~3により、国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書(令和4年度)の公表について、経営協議会学外委員及び監事による確認結果の説明があった。審議の結果、原案のとおり了承された。

(3) 一般財団法人日本財団電話リレーサービスとの連携協定の締結について

石原学長から、資料3-1~2により、一般財団法人日本財団電話リレーサービスとの連携協定の締結について説明があった。審議の結果、原案のとおり了承された。

3 報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について

(2) 一般社団法人手話言語等の多文化共生社会協議会への参加について

(3) 本学におけるリカレント教育事業について

(4) その他

報告事項(1)については、石原学長から、口頭により、大学ホームページでの新型コロナウイルス感染者数の公表を終了する旨の報告があった。

報告事項(2)及び(3)については、資料4~5により、それぞれ報告があった。

報告事項(4)その他において、新たな学位プログラムの名称について意見交換がなされた。また、大学改革を進めるにあたっての各学部内部での体制づくりについて、四日市理事及び大島監事から確認があり、意見交換がなされた。

以 上